



9
VOL.15

MARCH!

TOPICS

インタビュー デジタル化プロジェクト
エイベックスのイマ
ーワクチン職域接種開始

NEXT UP

ーインターンシップ・QC 検定お知らせ



DX 推進！

デジタル化プロジェクト

プロジェクトリーダー

山内 宣孝
Yamauchi Noritaka

サブリーダー

大谷 恵美
Otani Emi

今回は、6月に誕生したデジタル化PJの山内PLと大谷SLにお話を伺います！まず、デジタル化PJができた背景を教えてください。

山内 画像処理技術の専門性が高まってきて、DX推進の需要増加もあり先進的な技術を取り込むためにプロジェクトとして立ち上がりました。お客様と共同で画像処理の開発も行っています。

DXという言葉は初めて耳にするのですが、どういったことなのでしょう？

山内 DXとは、デジタルトランスフォーメーションの略称です。簡単には、デジタルツールの活用を通して既存の業務を変更・廃止し、現在の仕事の進め方を根本的に変化するような活動です。

デジタル化PJは、どのような取り組みをしていますか？

山内 DX推進に関わる全般的な業務を行います。IoT（Internet of Things）によるペーパーレス、画像処理、共有に力を入れております。

そんなに幅広く取り組みをされているんですね・・・
6月から始動して、一番力を入れているのは、どの取り組みになりますか？

山内 そうですね・・・全部ですね！（笑）
実際のところ、お客様と共同開発している画像処理ですかね。例えばリニアブランジャ（*1）の2つの穴をどうやったら検査できるか検討しています。より高精度な検査を実現するために必要なことを書籍、インターネット問わず調べ、自社内で検査に必要な数式をプログラムに落とし込むなどお客様からの技術提案を受けることもそうですが、自ら調べたことを実装・技術提案し共同開発という立ち位置で進められるように日々開発をしています。
次の取り組みは、IoTによるペーパーレスですね。設備全てのセンサーをインターネットに繋げることによって、あらゆる情報がサーバーを通じて知ることができるので、わざわざ設備を見に行く必要がなくなりますし、ネットワークの中に全ての情報、各種加工状況を把握できるので、加工する人数や管理する工数を少なくすることもできます。今現在は素案検討段階ですので、現場に近いレベルでの実装が進んでいませんが、アルミバルブT等一部の外観検査工程で実装を進めています。今年度中に全社に展開したいと考えております。

最後に、共有についてですが、そもそもなぜ共有が必要かについて話させていただきます。デジタル化PJが立ち上がったとは言え、自社でシステムを構築することに関してはまだまだ知見が浅く、外注で作っていただくレベルには残念ですが及びません。一方でシステムは外注すると高額なため稟議を通すことも難しいです。そんな中で自社開発によってデジタル化を進めるという選択肢

が出てきます。技術が及ばない中で安定させてシステムを動かすには、サービスを受ける側（製造）、サービスを作る側（デジタル化PJ）お互いが歩み寄って作り上げていく必要があります。デジタル化をしていく為にどのような操作、情報があるとシステムとして機能できるのか。今までは人と人との間で成立していた抽象的な部分を具体化すること、そのプロセスはどんなものなのかをグループ、チームを超えて共有を通して展開し、共有を受けた製造部署とデジタル化PJが相互に関係しあうことでエイベックスに必要なシステムを構築する。そのような部署横断的な活動をするためにプロジェクトとして活動しています。こういった社内の深い連携する力を生かすことで外注に及ばない技術を補いながら、低コストに安定したシステムを実現するためというのが目の前の共有をする理由です。

大谷 SLからも一言いただきたいのですが、山内PLと一緒に仕事をすることによって今までとは、違ったところなどありますか？

大谷 今まで1人で画像処理について取り組んでいたのですが、山内さんと同じプロジェクトになって相談できる事が助かりますし、今まで気にせず流していたところが、山内さんと仕事をする中で、流すのではなくちゃんと興味を持って一つ一つ勉強しないといけないと思うようになったのが大きな変化です。

その結果が机の上の大量の本ですね！！
最後にデジタル化PJの今後について教えてください。

山内 私たちはプロジェクトとして動いていますのでチームに縛られずに、全社統一したデジタル化を目指します。15年後の現場には、人が異常処理やルーチン作業をすることがなくほとんど人がいない現場を目指しています。また、そのような未来像の中で社内失業のような状態の人を出さない為に、人とシステム、デジタルツールとのかかわり方を共有し、デジタルツールの活用により新たな改善、研究・開発の課題創出とその取り組みができるような人材も並行して増やしていきたいです。



*1 リニアソレノイドブランジャ

7/14・21

01

技能員ゼロゼロ発表会（中間）

第23回「技能員・検査員ゼロゼロ発表会（中間）」が行われました。
本社では、7/14（水）に ゼロT、1T、生産管理Tからの発表があり、
多度・先進では、7/21（水）に生産革新T、アルミバルブT、シャフト
T、パイオニアT、生産管理T、先進工場QCサークルメンバーからの発
表がありました。
最終発表は9月下旬を予定しています。

7/31~

02

新型コロナワクチン 職域接種が開始しました

三重県桑名市による、中小企業向けの新型コロナワクチン職域接種を行
いました。
初日の7月31日（土）は、近隣企業4社含む318名の参加者が桑名
先進工場にてワクチンを接種しました。接種は3回に分けて行われ、9
月下旬に希望者全員が2回の接種を終える予定です。



8/2～4

03

名古屋商業高校・名古屋経営短期大学インターンシップ

名古屋工場に、名古屋商業高校から2名、名
古屋経営短期大学から2名の学生がインターン
シップにお越しいただきました。
主に総務経理のお仕事を体験して頂きました。
最初は緊張していたと思いますが、凄く業務を
頑張っている姿を見受けられました。
エイベックスでのインターンシップの経験がこ
の先の社会人生活に生かされると良いですね。



8/7

04

共育デー・サクセスデー

エイベックスに新しく入社された皆様を対象に、各拠点にて従業員が講
師となり共育を実施しました。会社の理念や安全に関する知識、製品や
お客様についてなどを学んでいき、会社のことをより知ってもらう機会
となっています。
またサクセスデーと題し、連休前に全社設備の保全や清掃活動も実施さ
れました。



次月のお知らせ

NEXT UP

1 9月インターンシップ受け入れ予定情報

9/6～9/8

中部大学工学部よりインターンシップを1名桑名先進工場にて受け入れ予定です。

ご対応いただく皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

※新型コロナウイルスの影響により、中止の可能性もあります。

2 9/5 QC検定実施予定

今回のQC検定ですが、コロナ以前と同様に会場にて受験いただくこととなりました。

会場は名古屋・三重でございます。

基本的に所属拠点に合わせ会場を決めておりますので、受験票をご確認ください。

※新型コロナウイルスの影響により、中止の可能性もあります。

日程：2021年9月5日（日）

3級 13:30～15:00

スラマッパギ！
Selamat Pagi!
—ASM



日本から輸出した第一便のNC自動旋盤などの設備が、やっとASM工場に到着しました！予定より1ヵ月遅れでの到着です、、、これから遅れた分をみんなで必死になって巻き返しをやっていきます。



新型コロナウイルスの影響で、設備メーカーの技術者もインドネシアに來れていない状況です。そのため、自分たちで設備のレベルだしから心だしなどのセットアップを内製化して作業をおこなっています。



そして、工場の入り口には大きくASMのロゴが取り付けられました！

コチラは、設備が入ったのでイスラム式の神様に感謝してお祈りをするセレモニーの様子です！



今月の担当者の
つぶやき

8月になって気温がますます高くなってきましたね。

少し歩いただけで汗が止まりません（笑）

この夏もコロナウイルス感染予防のため、マスクを着けて行動することになります。

熱中症にならないよう、こまめな水分補給を摂りながら、この夏を乗り越えましょう。

総務経理部門 古屋敷

プロテックチーム

石灘 隆哉

出場種目

ボクシング競技

とこわか国体まで2か月を切りました。
エイベックスから総務経理部門・古屋敷拓也とプロテックチーム・石灘隆哉がとこわか国体に出場します。
両者とも、とこわか国体の優勝を目指してトレーニングに励んでいます。
応援どうぞよろしくお願いします！

総務経理部門

古屋敷 拓也

出場種目

ウェイトリフティング競技

エイベックススポーツ特集

TOKOWAKA





製作・編集 総務経理部門
社内報 No. 133 号 2021 年 8 月 20 日号

AVEX MAGAZINE

